

市立病院 令和4年度決算報告

令和4年度大和市病院事業決算について、9月議会にて決算認定を受けましたので報告します。

1. 令和4年度決算の概要

- ・ 対前年度比較で診療収益が入院・外来ともに大幅に増加（約6.2億円）した一方で、新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として中等症患者等の受け入れをしたことから交付される病床確保料補助金は制度の縮小に伴い減少し、また電気・ガス料金の価格高騰により経費も増加しました。それらの結果、約3.9億円の黒字決算となりましたが、前年度よりも黒字額は縮小しました。

2. 収支状況

(単位：千円)

	令和4年度(A)	令和3年度(B)	差(A-B)
① 病院事業収益	12,984,522	13,129,364	△144,842
うち入院収益	6,268,825	5,746,948	521,877
うち外来収益	3,373,922	3,278,244	95,678
うち一般会計負担金	1,362,500	1,392,149	△29,649
うち国県補助金	1,282,517	2,002,162	△719,645
② 病院事業費用	12,590,548	12,183,914	406,634
うち給与費	6,450,624	6,361,929	88,695
うち材料費	2,684,335	2,491,351	192,984
うち経費	2,015,883	1,881,442	134,441
③ 収支額(収益－費用)	393,974	945,450	△551,476

3. 業務量

		令和4年度(A)	令和3年度(B)	差(A-B)
入院	・ 占床率	64.1%	59.9%	4.2ポイント
	・ 1日平均患者数	258.2人	241.3人	16.9人
	・ 平均在院日数	10.0日	9.8日	0.2日
	・ 診療単価	66,510円	65,254円	1,256円
外来	・ 1日平均患者数	786.9人	790.5人	△3.6人
	・ 診療単価	17,644円	17,136円	508円

① 病院事業収益の主な増減理由

入院収益：対前年度比+521,877千円

- ・ 前年度と異なり、コロナ患者対応による病棟閉鎖等が無かったことから、稼働できる病床数が増え、結果として入院患者数が増加しました。また、1日1人あたりの診療収益も、診療報酬上の加算を積極的に取得すること等により上昇しました。

外来収益：対前年度比+95,678千円

- ・ 地域医療支援病院として、機能分化を推進することから急性期を脱した患者さんの逆紹介を推進しました。そのため、外来患者数は対前年度比で微減（△83人）となりました。

補助金：対前年度比△719,645千円

- ・ 前年度に引き続き、重点医療機関としてコロナ陽性患者等を受け入れてきましたが、制度改革により補助対象病床が縮小したことから、大幅な減収となりました。

② 病院事業費用の主な増減理由

給与費：対前年度比+88,695千円

- ・ 看護師数の増（R3年度末326人→R4年度末332人）に伴い、看護師給（給料）や時間外手当が増加しました。（給料/看護師給 +16,501千円、手当/看護師給 +58,446千円）

材料費のうち薬品費：対前年度比+192,984千円

- ・ 診療収入の増加に伴い増加しました。 ※ 薬品費対医業収益比率：R3 16.97%、R4 16.39%

経費のうち光熱水費：対前年度比+74,223千円

- ・ 原油価格高騰の影響等により料金単価の基礎となる燃料調整額が急激に上昇したため、電気・ガス料金ともに増額となりました。（電気：+51,394千円、ガス：+29,707千円）

経費のうち委託料：対前年度比+34,343千円

- ・ 更新) 物品管理委託 (+16,421千円) 契約更新に伴う仕様の追加及び人件費高騰
- ・ 新規) X線CT装置保守委託 (+8,685千円) 瑕疵担保期間の終了。
- ・ 充実) 病院経営改善支援業務委託 (+8,580千円) 訪問回数が増等、大幅な仕様変更

4. その他財務状況

(単価：千円)

	令和4年度(A)	令和3年度(B)	差(A-B)
・現金預金残高	1,178,103	830,463	+347,640
・企業債残高	2,580,901	3,351,489	△770,588
・他会計借入金残高	1,000,000	1,000,000	0

その他財務状況の主な増減理由

- ・ 現金預金残高は、病床確保事業補助金等が減少したものの、診療収益の増加等により対前年度比約3.5億円の増となりました。
- ・ 企業債残高は、元金償還額に対して新規の借入額が下回っていることから、対前年度比約7.7億円の減となりました。